

合格体験記 (AO方式入学者選抜)

第Ⅱ項 学芸 学部 メディア創造 学科

出身高校名 中越高等学校

AO方式入学者選抜 第Ⅱ項
メディア創造学科

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私が同志社女子大学を志望した理由は設備の良さ、そして幅広い分野について学べるカリキュラムに惹かれたからです。他にもオープンキャンパスに参加したときに大学内の雰囲気がとても良かったことや、専門職への就職率が高く、当時私が就職したいと考えていた企業の就職実績があった点に魅かれました。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は同志社女子大学が第一志望だったため一つでも合格のチャンスを増やそうと考え、AO方式での受験を決めました。また、高校では演劇部で活動していたため人前で話すことには多少自信がありAO入試が自分に向いていると考えたからです。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は高校での演劇部の活動をアピールしました。アピール内容は結果よりも過程を重視しました。例えば、「目標に向けて行った工夫や努力、意識したこと、またそこから何を得たか、失敗から何を学んだ」かなどをアピールしました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

志望理由書は、自分が将来に向けて、大学生活で何を身に付けたいかや、身に付けたことをどのように将来に生かしたいかなどを分かりやすく書くことを心がけました。また、課題レポートでは、「メディア不信」に関する本を題材にし、メディアの現状に対する自分の考えを書きました。自分の考えを明確にするため、メディアに関する本を読み知識を増やしました。書類作成は全て自分にしか書けないものを心がけました。

〔面接〕

面接は相手に伝えることを意識しはっきりとした通る声で話すことを意識しました。プレゼンテーションは一次審査の結果から前から取り組みました。実際の大会や練習の映像を編集し、また何度も人に見てもらい、感想やアドバイスをいただき完成させました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は書類作成に多くの時間を費やしました。そのためなるべく早くに準備を始めることをオススメします。AO入試を通して多くの力を身につけることができました。受験生のみなさん自分の考えを大切に頑張ってください！